読み比べ

羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の語　―品詞分解―

今は昔、摂津の国の ほとり より、盗み せ
係助・区別　格助・体修　格助・起点　サ変・未

む が ため に 京 に 上り ける 男 の、
意・体　接助・単接　格助・理由　格助・場所　ラ四・用　過・体　格助・主格

日 の いまだ 明かり けれ ば、羅城門 の 下
格助・主格　副　形ク・用　過・已　接助・順理　格助・体修

に 立ち隠れ て 立て り ける に、朱雀 の
格助・場所　ラ下二・用　接助・単接　タ四・已　完・用　過・体　接助・単接　格助・体修

方 に 人 しげく ありき けれ ば、人 の
格助・場所　格助・場所　形ク・用　カ四・用　過・已　接助・順理　格助・主格

静まる まで と 思ひ て、門 の 下 に
ラ四・体　格助・範囲　格助・引用　ハ四・用　接助・単接　格助・体修　格助・場所

待ち 立て り ける に、山城 の 方 より 人ど
タ四・用　タ四・已　完・用　過・体　接助・単接　格助・体修　格助・起点

も の あまた 来 たる 音 の し けれ ば、
格助・主格　副　カ変・用　完・体　格助・主格　サ変・用　過・已　接助・順理

それ に 見え じ と 思ひ て、門
代　格助・対象　ヤ下二・未　打推・終　格助・引用　ハ四・用　接助・単接

の 上層 に やはら かかつり登り たり 盗人、「あやし。」
格助・体修　格助・場所　副　ラ四・用　完・用　過・体　形シク・終

と 見れ ば、火 ほのかに ともし たり。
格助・引用　マ上一・已　接助・順偶　形動ナリ・用　サ四・用　存・終

思ひ て、連子 より のぞき けれ ば、若き
ハ四・用　接助・単接　格助・起点　カ四・用　過・已　接助・順偶　形ク・体

女 の、死に て 臥し たる ば、そ の
格助・同格　ナ変・用　接助・単接　サ四・用　存・体　ラ変・終　代　格助・体修

枕上 に 火 を ともし て、年 いみじく 老い
格助・場所　格助・対象　サ四・用　接助・単接　形シク・用　ヤ上二・用

たる 嫗 の 白髪 白き が、そ の 死人 の
存・体　格助・同格　格助・同格　形ク・体　格助・主格　代　格助・体修　格助・体修

枕上 に ゐ て、死人 の 髪 を
格助・場所　ワ上一・用　接助・単接　格助・体修　格助・対象

かなぐり 抜き取る なり けり。盗人 これ を 見る
ラ四・用　ラ四・体　断・用　過・終　代　格助・対象　マ上一・体

に、心 も や あら む。」と 思ひ て
接助・単接　係助・強意　係助・疑問（係）　ラ変・未　推・体（結）　格助・引用　ハ四・用　接助・単接

鬼 に ども、「もし 死人 にて
断・用　接助・逆確　副　格助・状態

恐ろしけれ ば、「これ は もし
形シク・已　代　係助・区別　副

もぞ
連語（係助・同類＋係助・強意（結））

ある（ラ変・体（結））。
やはら（副）戸（格助・対象）を（サ四・用）て（接助・単接）開け（カ下二・用）て（接助・単接）試み（マ上一・未）む（意・終）。」と（格助・引用）思ひ（ハ四・用）て（接助・単接）、刀（格助・対象）を（格助・対象）抜き（カ四・用）て（接助・単接）、「己（代）は（係助・区別）、己（代）は（係助・区別）。」と（格助・引用）言ひ（ハ四・用）て（接助・単接）走り寄り（ラ四・用）けれ（過・已）ば（接助・順偶）、嫗、手惑ひ（ハ四・已）を（格助・対象）し（サ変・用）て（接助・単接）、手（格助・対象）を（格助・対象）摺り（ラ四・用）て（接助・単接）惑へ（ハ四・已）ば（接助・順理）、盗人、「こ（代）は（係助・区別）何（代）ぞ（係助・強意）の（格助・体修）嫗の（格助・主格）、かく（副）は（係助・区別）しゐ（ワ上一・用）たる（存・体）ぞ（係助・強意）。」と（格助・引用）問ひ（ハ四・用）けれ（過・已）ば（接助・順偶）、嫗、「己（代）が（格助・体修）あるじ（接助・資格）にて（完・体）つる（完・体）人（格助・主格）の（格助・主格）失せ（サ下二・用）給へ（補動・ハ四・已（尊）嫗→あるじ）る（完・体）を（格助・対象）、あつかふ（ハ四・体）人（格助・主格）の（格助・主格）なけれ（形ク・已）ば（接助・順理）、かくて（副）置き（カ四・用）と（格助・引用）おはしまし（サ四・用（尊）嫗→あるじ）て（接助・単接）、奉り（補動・ラ四・用（謙）嫗→あるじ）たる（存・体）人（格助・主格）の（格助・主格）なり（断・終）。そ（代）の（格助・体修）御髪（格助・主格）の（格助・主格）丈（格助・対象）を（格助・対象）抜き取り（ラ四・用）に（格助・比基）余り（ラ四・用）て（接助・単接）長けれ（形ク・已）ば（接助・順理）、それ（代）を（格助・対象）抜く（カ四・体）とて（格助・引用）助け（カ下二・用）て（接助・単接）髪（格助・結果）に（格助・結果）せ（サ変・未）む（意・終）とて（格助・引用）と（格助・引用）言ひ（ハ四・用）けれ（過・已）ば（接助・順偶）、盗人、死人（格助・体修）の（格助・体修）給へ（補動ハ四・命（尊）嫗→盗人）。」と（格助・引用）カ上一・用）着（存・体）たる（存・体）衣（格助・並列）と（格助・並列）嫗（格助・体修）の（格助・体修）と（格助・並列）着（カ上一・用）たる（存・体）衣（格助・対象）を（格助・対象）抜き取り（ラ四・用）て（接助・単接）、髪（格助・並列）と（格助・並列）ある（ラ変・体）髪（格助・並列）と（格助・並列）奪ひ取り（ラ四・用）て（接助・単接）、下り（ラ上二・用）て（接助・単接）走り（ラ四・用）て（接助・単接）逃げ（ガ下二・用）て（接助・単接）去り（ラ四・用）に（完・用）けり（過・終）。さて（接）そ（代）の（格助・体修）上（格助・体修）の（格助・体修）層（格助・体修）に（格助・場所）は（係助・区別）死人（格助・体修）の（格助・体修）骸骨（格助・体修）ぞ（係助・強意）多かり（形ク・用）ける（過・体（結））。死に（ナ変・用）たる（完・体）人（格助・同格）の（格助・体修）、葬り（格助・体修）など（副助・例示）え（副）せ（サ変・未）ぬ（打・体）連語（格助・対象＋係助・強調）をば（格助・対象＋係助・強調）、こ（代）の（格助・体修）門（格助・体修）の（格助・体修）上（格助・場所）に（格助・場所）ぞ（係助・強意）置き（カ四・用）ける（過・体（結））。こ（代）の（格助・体修）こと（格助・体修）は（係助・区別）、そ（代）の（格助・体修）盗人（格助・主格）の（格助・主格）人（格助・対象）に（格助・対象）語り（ラ四・用）継ぎ（ガ四・用）て（接助・単接）、かく（副）語り伝へ（ハ下二・用）たる（存・体）と（格助・引用）を（格助・対象）聞き継ぎ（ガ四・用）て（接助・単接）、かく（副）語り伝へ（ハ下二・用）たる（存・体）と（格助・引用）や（係助・疑問）。

（巻二十九第十八）